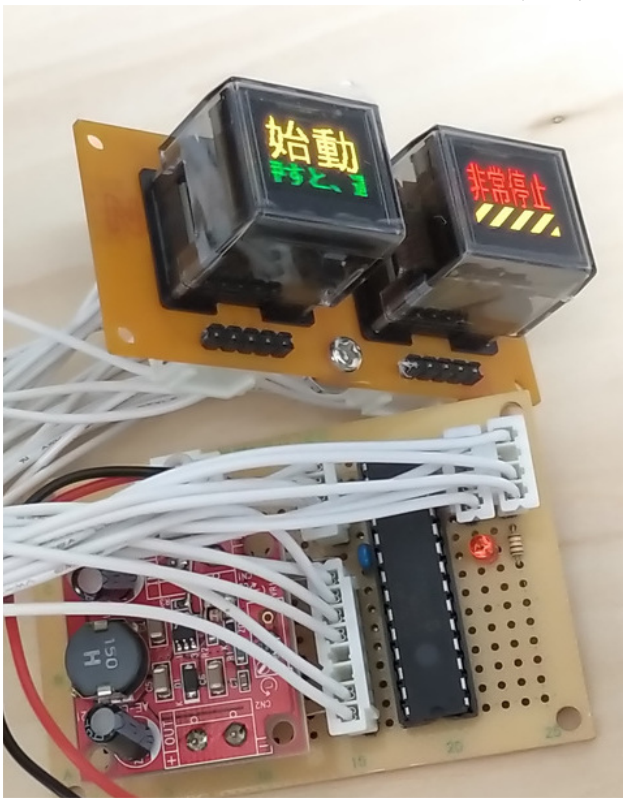

本当に一緒に作ってくれる、チーム みたいな形で作ってくれるっていうのが、一番いいなと思ってるところですね。

合同会社バリアブルデザインは2016年に設立され、展示用什器などの設計製造や、小ロットのケース加工、基板実装などをおこなっている。

今回は代表の川村仁志氏（写真）に、ソフトウェアのアウトソースに到った経緯を伺った。

---- アウトソースを考えたのは、いつごろ、どんなきっかけでしたでしょうか？

まず創業してからなんですけれども、やっぱりリソースが足りないっていうところがいちばんあってですね。
設計だとかハードウェアの方はできたので、ソフト寄りのところをアウトソーシングできればなということで、ある程度近くで探すってところを一番の目標にしていて、いろいろ細かく対応できそうだなっていうところで、木元さんに問い合わせさせていただいたっていうのがスタートですね。
以前ちょっと地方のメーカーさんとお話したことあるんですけれども、webだけだったり電話だけになっちゃうとわかりにくいこともあるので、現場が近いっていうとこで安心感があるなっていう。
一番大きい安心材料と、保険みたいな形ですね。

仕様書とかきっちり決まってなくても、スタートできるっていうところ。仕様書きっちり作ると、１週間ぐらいずっとそっちに割かれてしまう。

---- きもと特急電子設計をいつどうやって知りましたか。

ホームページのインターネット検索で、キーワード検索入れて出てきたというところですね。
もう7年ぐらい前になるんですけれども、PICマイコンで液晶付きのスイッチのデモ機作りたいっていう（案件があって）。
他のところにもいろいろ探したりはしてたんですけれども、高いところが多かったりとか、もう「1000万ぐらい」みたいなところばっかりだったので「デモ機にそれはないね」みたいな話で。
ある程度手作り感残ってもいいから、マイコンだけやってくれるところを探したってところですね。

---- 第1印象はいかがでしたか。

やっぱり具体的な情報がいろいろ載ってるなと思いまして、ホームページ見たときには。
あと金額がある程度ざっくりイメージがあったので、それがすごい安心材料でした。
さっき言った通り、他のメーカーさんですと、デモ機って言うとコンサルティング料が大体もう、数百万ドーンと乗っかっちゃってからのハードウェア費かなって。
できる会社もなくはないんですけれども、結構、量産メインなので、デモ機も作ってるところがなかなかなくて。
あと、仕様書を全部きっちり決めて細かくやってからじゃないと動かないとか、動き始めるのがもう2ヶ月3ヶ月先で、また仕様書を作ろうで1ヶ月ぐらいだとかって結構ありますから。

---- 他と比較しましたか。

ある程度2、3人でやってるエンジニア屋さんとか、本当に100人前後のところとかいうのも、一応比較はしました。
値段的に、木元さんが一番安かった。やっぱり、個人でやられてるってとこもあると思うんですよ。
あとは大手さんになればなるほど、そのデザイン費というかコンサル費みたいなのが最初にドーンと入ってきて、（それが）ないっていうのが大きかった。
他の中小の4、5人だったエンジニアの方々の会社にも相談をしてるんですが、一緒に作るってことやってくれるのは少なかったなっていうところですね。
受ける側からすれば、確かにその相談するのもお金かかるんだよと。わからなくはないんですけど（笑）。

---- 他ではなくて、きもと特急電子設計を選んだ理由を三つあげると、どんな感じでしょうか？

一番はやっぱり一緒に作っていけるっていうところが。
他のメーカーさんだと、やっぱり仕様書こっちが作るか向こうで作るかとかで、アイディア出しをするとかってあんまりないので、本当に一緒に作ってくれる、チームみたいな形で作ってくれるっていうのが、一番いいなと思ってるところですね。

二つ目が、価格と納期といったところだと思います。
内容に関して費用対効果がすごいなっていうのが、ものすごい私助かってます。
今回のドライバーとか作っていただくのも、やっぱりスタートから早いので。
他社さんの話になっちゃうんですけれども、社内で図面の承認取ったりとか、1週間2週間経っちゃったり。
そのスピード感っていうところで、すごい御社ならではなのかなと。

三つ目に挙げるとすると、仕様書とかきっちり決まってなくても、スタートできるっていうところ。
仕様書きっちり作ると、1週間ぐらいずっとそっちに割かれてしまう。
そこである程度スタートしながら、一緒に決めていくとかできるというところですね。

---- アウトソースしてみてご感想はいかがでしたでしょうか。

やっぱり時間が有効活用できるようなりました。

---- そう言っていただけると嬉しいです。

ハードとソフト両方並行で進められるようなるので、トータル納期が短くなるっていうところですね。
あと、やっぱり自分にはないアイディアがいろいろもらえるのはいいなっていうところで、それも嬉しいです。
自分だけでやっていくと、その自分たちの業界の常識とか今までの慣わしだけになってしまうので。やっぱり他の人の意見とか入ってくるとか、こういうやり方もあるねっていう気づきとか、いっぱいあるので。

---- ありがとうございました。

エンジニアがいなくて、計画遅れてませんか?
ベストな進め方を納得いくまで相談。100%返金保証。外注が初めてでも安心のハードソフト開発。

きもと特急電子設計
プロフィール

屋号	きもと特急電子設計
代表	木元 峰之（きもと みねゆき）
設立	2009年
従業員数	1人（代表1人でやっています）
住所	150-0002 東京都渋谷区渋谷3-5-16 渋谷3丁目スクエアビル2F （レンタルオフィスですので、アポを取ってからお越しください）
開発室	神奈川県横浜市 （普段はこちらで仕事をしています）
電話	0120-220-447 （打ち合わせ中など出られない場合は、留守電にメッセージをお願いします）
メール	kimoto@pa-i.jp
ホームページ	https://kex.jp/
扱える技術	**回路（ハードウェア）設計:** アナログ、デジタル、マイコン、電池など。 **プリント基板:** 設計、はんだ付けなど。 **ソフトウェア開発・ファームウェア開発:** アセンブラ、画面・タッチパネル設計、センサー制御、電源制御など。 **無線モジュール選定・制御:** Wifi、Bluetooth、TWE-Lite独自ファーム、FMCWなど。 **通信プロトコル:** TCP/IP、MIDI、有線プロトコル設計、無線プロトコル設計など。 **サーバ設定:** Linux、Dockerなど。 **ウェブシステム開発:** C言語、php、JavaScript、画像処理、3D座標計算、独自フレームワーク設計など。 **スマートフォンアプリ開発:** Android、NDKなど。 **その他:** PDF生成、データフォーマット変換、実験計画法など。 **※大事なのはお客様のゴールですので、AIといった手段に囚われず、適切な技術を組み合わせてご提案します。** **進め方チェックサービス（無料）。**経験者の目で進め方をチェックしてほしいときに。無料です。 **zoomやteamsの画面共有でしたら、ファイル送付は不要です。**固有名詞や機密部分は不要ですので消しておいてください。**メールで「zoom相談希望」と候補日時をお送り下さい。**